

議会報告会 会場報告書

担当班： 第 3 班 班代表者：荒木礼子

概 要			
地区名 : 多紀地区 日時 : 令和6年11月24日(日) 午前10時～午前11時30分 場所 : ハートピアセンター 参加人数 : 7人(男7人・女0人)	【出席議員】 荒木礼子 向井千尋 堀毛宏章 渡辺拓道 安井博幸 岡 圭子	(1) 開会あいさつ : 荒木礼子 (2) 議会報告 : 堀毛宏章 (3) 質疑応答 : 向井千尋 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ : 渡辺拓道	挨拶・総括 : 荒木礼子 司会進行 : 向井千尋 報告 : 記録 : 安井博幸 岡圭子 会場(マイク) : 渡辺拓道

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
丹波篠山国際博のプロジェクトマップにかなりの費用がかかっているが、その後も使うのか。	国際博終了後も、機材は様々なイベントで活用を予定している。
議会報告の説明が事務的で分かりにくい。またスライド資料に詳細がないので分かりにくい。内容や内訳が分かるようにしてほしい。例えばデカンショポイント8千円だけでは分からない。	デカンショポイント8千円は資源ごみ回収へ付与されるポイントのための予算であるが、内容については、口頭説明で伝えるようにしており、報告者の裁量に委ねている。
議員の構成に、期数は必要ないと思うが。	ご意見として承る。
旧保健センターの改修工事の入札がまだ落ちていないようだが、その後どうなっているのか。	現段階ではまだのようだが、決まるよう再度努めている。
清掃センターで、埋め立てごみを受け付けてもらえなくなるのか。	事業者から出る埋め立てごみの受付は来年7月で終了となるが、家庭からの埋め立てごみは従来通りである。

A 子育て・教育支援のために必要なこと

【参加者意見・ソフト】

1. この地域に住みたくなるような魅力ある施策が必要
 - ・若者・子育て世代の住民増加のための子育て施策の充実
 - ・医療の充実と住まい確保
2. 通学路の安全対策の最優先

【参加者意見・ハード】

1. 子育てしやすい施設の充実と住まいの確保
2. 篠山東中学校前の歩道の工事が途中で止まっている。
危険な箇所なので早急に工事を進めてもらいたい。

A 子育て教育のために必要なこと

子どもをもっと産みたい、ここに住んで良かったと思える施策

B Aを実現するための課題と対策

『課題』参加者意見・ソフト

1. 若者支援の更なる充実
 - ・市営住宅の入居基準の見直し
2. 通学路の安全対策
 - ・道路照明の設置が必要
 - ・雑草・樹木の除去と野生動物対策

【その他】

- ・地域コミュニティの希薄化

【『対策』参加者意見・ソフト】

1. ・若者に特化した移住祝い金や
出産祝い金の増額
 - ・市営住宅の入居基準の緩和
2. 通学路の安全対策の実施
生徒や地域だけの問題でなく、教育委員会や市全体の問題と捉えるべき。

【『課題』参加者意見・ハード】

1. ・賃貸住宅や市営住宅を増やす
 - ・保育施設の充実
 - ・産婦人科が少ない。
2. 通学路の整備と安全対策

【『対策』参加者意見・ハード】

1. 移住受入れ住宅を建築
2. 通学路の整備を進める
(通学路の安全)
生徒や地域だけの問題ではなく、教育委員会や市全体の問題と捉えるべきである。

B 解決するために必要なこと

若者の給料アップ、家賃の安い住まいの確保、保育施設の充実、移住祝い金や出産祝い金の更なる増額など、子育て世代に特化した施策が急務。

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・篠山東中学校の自転車の通学路区間において、歩道の工事が中断した状態なので早急な工事着手の必要がある。
- ・定住促進重点地区には、例えば移住祝い金や出産祝い金を高額にするなど、移住定住促進のための思い切った魅力ある施策が必要ではないか。
- ・多紀地区は住宅の賃貸物件が少ないので、子育て世代や若者の移住定住促進のためにも、市営住宅建築等で住まいの確保が必要。
- ・地域が若者や子育て世代の転入を望む一方で、昔のような付き合いや繋がりが持てず戸惑いがあるという意見もあり、農村集落の課題である。